

# マキノ病院ニュース

第90号

—平成28年1月1日発行—

## 地域包括ケアシステムを支える

### 多機能病院を目指して

理事長・院長 森田 豊



新年あけましておめでとうございませう。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

さて、私が当院に赴任して、早や20年が過ぎました。当時5万4千人あつた高島市（当時は高島郡）の人口もついに5万人を切り、高齢化だけでなく、人口減少が現実のものになってきました。このような状況下、将来に対する不安を感じられている方も多いのではないのでしょうか。そこで今、対応策として提唱されているのが「地域包括ケアシステム」です。これは「たとえ病気や認知症等で重度な要介護状態となつても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される」というものです。マキノ病院も入院を中心とした医療面で、この地域包括ケアシステムに貢献したいと考えています。

要介護患者さんは、例えば骨折で入院が必要となつた場合、術後の回復に時間がかかるだけでなく、リハビリテーションや肺炎等の合併症のため入院が長引くことが多いのが特徴で、時には退院自体が困難となることさえあります。このような患者さんに対し、手術は急性期病院、リハビリテーションは回復期病院、合併症等で退院のめどが立たなくなつた患者さんは慢性期病院というように、機能の異なる病院が互いに連携し、病状に合わせ患者さんに移動（転院）していただく治療を続けること

これが「たとえ病気や認知症等で重度な要介護状態となつても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される」というものです。マキノ病院も入院を中心とした医療面で、この地域包括ケアシステムに貢献したいと考えています。

ということもあります。勿論一つの病院ですべての病気に対応できるわけはなく、我々も連携には前向きに取り組んでおりますが、「住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができる」という地域包括ケアシステムの考え方からすると、少なくとも要介護状態の患者さんに対しては、身近な病院で急性期から慢性期、退院後の在宅医療まで完結できるのが理想と考えております。高島市のように病院が少なく、南北に偏つているという地域の特性を考えると、特にその必要性が高いと思われれます。

マキノ病院は、基本的には急性期救急病院ですが、急性期病床以外に、主にリハビリテーションを行う地域包括ケア病床、慢性期の患者さんに対応する医療療養型病床を有しており、これらの病床を効果的に運用する

ことにより、急性期・回復期・慢性期から在宅復帰まで、個々の患者さんにあつた切れ目のない医療を目指しております。また、退院後も、従来から行つております訪問診療、訪問看護、訪問リハビリテーション、デイケアに続き、昨年5月にオープンいたしました小規模多機能型介護施設「はびねすマキノ」を総動員することにより、さらにきめ細かく対応できる体制を整えていきたいと考えております。

このように、一般患者さんに対する急性期医療だけでなく、身近な病院で治療を希望される要介護患者さんに対して、幅広い医療・介護を提供できる多機能病院を目指してまいりますので、ご支援よろしくお願い申し上げます。



診療科のご案内  
内科・外科・小児科・整形外科・皮膚科・神経内科  
泌尿器科・リハビリテーション科・肛門科・リウマチ科・放射線科  
【救急指定・労災指定】【人間ドック・各種健診】

— 診療受付時間 —  
平日 8:30 ~ 12:00 16:40 ~ 19:00 土曜日 8:30 ~ 12:00  
滋賀県高島市マキノ町新保 1097 TEL 0740-27-0099  
ホームページ <http://www.makino-hosp.or.jp>

## ドクターコーナー



アレルギー免疫療法や舌下免疫療法という言葉をご存じですか？アレルギー免疫療法とは、アレルギーの原因となる物質（アレルギー）を少量ずつ体の中に入れることで、体内のアレルギー反応が起りにくくなるようにしようとするものです。

これまで日本でも「皮下」免疫療法として、アレルギーを皮膚に注射する方法は行われておりましたが、定期的に通院し続ける必要があることと、毎回毎回注射しなければならぬことなどから、なかなか普及し

ては、すでに全国でたくさんのお客さんが治療を受けておられ、かなり良好な治療効果が報告されております。

ただし、治療に際して、蕁麻疹をはじめとするアレルギー反応を引き起こしてしまうリスクも伴う治療のため、治療についてよく理解して実行していく必要があります。また、毎日の服用を年単位の時間に渡って継続することになりますので、なによりモチベーションの維持が重要となつてきます。

ととしております。初回受診時に、個別に十分な問診と説明、検査など必要となりますので、通常の外来診察時間内（午前診・夜診）では受け付けておりません。毎週火曜日の午後2時に予約制で行つております。治療に関するお問い合わせは外来受付までお願い致します。

## 舌下免疫療法について

小児科 河原 敦

にくい治療法でした。

2014年の秋にスギ花粉症の治療薬として、「舌下」免疫療法が可能となりました。文字通り、舌の下にアレルギーを投与する方法です。舌下免疫療法は治療開始初日

また、2015年11月からダニのアレルギー性鼻炎の治療薬も発売となつており、将来的にはさまざまなアレルギーに対応した治療が行われるようになるかと思われれます。

ちなみに、今のところスギ・ダニいずれも、治療対象年齢は成人、および12歳以上の小児となっております。当院ではいまのところ年齢問わず小児科で対応するこ

